

# 十島村 移住者体験談

Toshima-mura IJU stories

## 十島村を知ったきっかけと移住をきめたポイントは？

インターネット(日本仕事百貨の記事含む)で知りました。移住を決めたポイントは他の移住候補先より圧倒的に不便なところと、子どもの教育に良さそうだったから。

## 現在の生活と移住後の暮らしについて

現在、のんびりした暮らしです。思っていたより忙しい部分もありますが、本土で普通にサラリーマンをしている人で、島の方が忙しいということはほとんど無いと思います。移住後については、子どもとの貴重な時間を楽しめています。

## 現在困っていること、不便だと思うことは？

お店が無いなど不便さはすぐに慣れました。人間の環境適応能力のすばらしさを体感できます。ただし、慣れないこともあります。宝島は(石灰分を含む関係などから)水があまり良くないと思います。その他、荷役作業(十島村はフェリーの出入港時の荷役作業を行う民間企業が無い場合、地元の方々が組織を作って作業する)は大変です。朝5時に港に行くのはまだ慣れません。しかし、この荷役作業は島のためには必ず必要です。



▲本名さんが作る島バナナのコンフィチュール。数々の賞を受賞している。



宝島  
本名さん

## 移住後の新たな取り組みについて

新たに始めたことばかりです。すべてが新鮮です。

## 移住して良かった点、不満に感じていることは？

移住して感じることは、家族との時間の大切さです。子どもが初めて寝がえりをうった時、ハイハイをした時、しゃべった時、すべての時を共有できました。こんなことは、移住前には考えられませんでした。

## 将来の目標や夢について

“宝島”という目線で考えると、どんどん視野が狭くなっていくのを感じます。だんだん手の届く所が狭くなり、発想が小さくなってきたような気がします。これからは、気持ちを新たに島外、村外と手を広げて、ビジネスチャンスをつかまえたいと考えています。

## 移住を希望される方へのアドバイス

仕事については、自分で作るしかありません。前職のスキルを活かして島に今まで無かった仕事を作る方が良いケースもありそうです。だからこそ、地域選定も含め、様々な視点から検討することをお勧めします。

## 十島村を知ったきっかけと移住をきめたポイントは？

きっかけは日本仕事百貨という今までにないカタチの求人サイトで十島村の夢希望村プロジェクトの求人を見つけた事です。東京で日々生活する自分たち夫婦に何が出来るか、これからの人生をどう生きていきたいか、何日も話し合い応募を決めました。移住をきめたポイントは第一に島の方の正直さに触れられた事です。もちろん島に広がる大自然も移住の大きなポイントとなりましたが、やはり人です。たった半日の下見でしたが、当時の自治会長はじめ島の方々の多くから島での生活の楽しみ方や厳しい現状などを聞く事ができ、移住後の自分たちを強くイメージできるようになりました。

## 現在の生活と移住後の暮らしについて

現在我が家は一年を通して都会からのボランティアさんを受け入れながら農業を中心に生計を立てられるように努力しています。その他農業のシーズンの合間には島の特産品であるトビウオの漁をしています。

妻は長年の東京での仕事を生かし服飾雑貨デザイナーとして古民家をアトリエとして利用させていただきオーダーメイド作品を中心に商品制作、販売をしています。

## 現在困っていること、不便だと思うことは？

今は特にありません。決して利便性が高い島ではありませんが、都会から島に移り住んでみるとそれが楽しくもあります。強いて挙げるといざという時の救急医療体制です。重篤患者のための緊急搬送は離島なのでどうしても天候などに左右されてしまう事があるのでこうした点は常に頭の中にあります。

## 移住後の新たな取り組みについて

仕事に関するほぼすべての事が初めての取り組みでした。都内NPO団体と連携して農業ボランティアさんを募集したり、荒廃農地を重機を使い開墾したり、少しでも多くの収穫ができるように試行錯誤したり、船舶免許を取って漁にでたりしていること、すべて自分たちにとっては新たな取り組みです。

## 移住して良かった点、不満に感じていることは？

今は正直移住して良かった点しか頭に浮かびません。小さな村だからこそ行政がより身近に感じられ、とても心強く助けになりますし、島の方々からは日々沢山の事を教えて頂き、私たち夫婦も日々成長させていただいています。都会での単調な毎日とちがいが刺激的で生きがいを感じられています。

## 将来の目標や夢について

近い将来の目標は自分たち家族がしっかりこの島で生活の基盤を築き自立できるようになることです。楽しいだけでは暮らしては成り立ちませんので生計をどう立ててどのようなスタイルで生きてゆくかを常に頭においておく事も大切だと考えています。今年で移住5年目になりますが、やっとこの目標がカタチになろうとしているので感謝の気持ちでいっぱいです。

大きな将来でいうと、移住者視点からの村おこし、島おこしを積極的に行いたいと思います。今ある宝島の素晴らしい箇所を生かしながら今よりも更に島を魅力的にアピールしていきたいと考えています。幸い宝島には私たちのような移住家族が何組もいるので、その仲間たちと連携を取りながら取り組んでいきたいと思っています。



宝島  
竹内さん



▲アトリエでの仕事



▲砂丘での島らっきょう作り

## 移住を希望される方へのアドバイス

移住して数年なので偉そうな事は言えませんが、移住を成功させるポイントは新天地でいかに自分の力で素晴らしい箇所を見つけられるかによると思います。移住者向けの本や情報誌に載っているのは一般的な情報でしかなく移住してからこんなはずではなかった、という話をよく耳にします。

自分でその地へ出向き、現地の人やものに触れ、自分で自分なりの良さをみつけ納得し決断する、これに限ると思います。

どこに行ってもいい事ばかりの毎日ではありません。時には乗り越えなければいけない問題も出てくるとは思います。しかしながら自分で見つけ出した良さはたとえくじけそうになった時でも自分の味方になってくれると思います。

## 移住までの準備

### STEP 1

### 情報収集

移住先を決めるにあたっては、ある程度の準備期間を設け、様々な角度から情報収集し、自身が納得した上で判断することが最も重要です。

十島村や各都道府県などが実施している移住者向けのセミナーに出席し、話を聞くのも一つの方法です。

- 交通(アクセス)
  - 気候
  - 就業
  - 医療、福祉
  - 教育
  - 子育て
  - 移住前及び移住後の行政等支援内容等
  - 地域活動
  - 地域の風習やルール
- など生活環境に関係すること



### STEP 2

### 自分の目で見て、感触をつかむ

書物やインターネット、映像で情報を得ることも一つの方法かもしれませんが、それだけでは把握できない情報も多くあります。自分の目で見て、地域の人と会話して、「ここだったら住めそうだ」という感触をつかむことが重要です。

宿泊先(民宿)の方や先輩の1ターン者などと知り合いになり、事前に地域との“つながり”を作っておくことも良いかもしれません。

十島村を訪れた経験が無い方は、まずは一度島に足を運んでください。役場職員又は各島の定住プロジェクトチームが島内をご案内します。

### STEP 3

### 生活基盤の確保

#### ○就業を考える

十島村では、一次産業以外の雇用の創出について検討をしていますが、やはり主な就業は畜産を中心とした農業、漁業など一次産業が中心です。一次産業については、すぐに技術習得できるものではないとともに、すぐに収入につながるものでもありません。

十島村では、遊休農地の貸与、生産素牛の貸付、就業者への奨励金、営農指導員による指導など様々な支援を行なっています。就業先については、役場が相談に応じます。

#### ○住まいを探す

村の村営住宅及び村が所有者から借り上げ一部改修した空き家住宅の貸し出しを行なっています。これらの村が管理する住宅については、ペット(犬、猫)を飼うことも可能です。宅地が少ないこと、また本土と比較して建設費用がかかることなどからご自身で家を建てられる方は少ない状況にありますが、住宅建設のための資金助成制度もあります。



## 移住の心構え

### ① 憧れや漠然とした気持ちだけでは長続きしません！

十島村は自然には大変恵まれています。離島の中でも、交通アクセスの脆弱さなど、生活していくためには厳しい地域であるのも事実です。

豊かな自然の中で暮らしたいという「憧れ」だけでは長続きしません。

島で何をしたいのか、将来の展望を持ち、準備・計画することが大切です。

村では、移住者に対し、様々な支援を行いますが、それらは永続的に行うものでもありませんので、ある程度の貯蓄があることに越したことはありません。

※貯蓄が無い方を受け入れないということではありません。



### ② 家族の同意を得ること！

移住は第2の人生のスタートであり、家族の生活環境も大きく変化します。ご家族とも十分に話し合いの場を持ち、移住への合意を図ってください。

### ③ 地域を尊重、理解すること！

地域の生活文化を尊重し、地域に溶け込み、地域活動などにも積極的に参加するなどの言動が必要です。

島は、「プライバシーが確保しづらい」、「地域活動や祭りごと」が多いなど、特有の生活環境です。移住後に後悔しないためにも、事前にそれぞれの島の地域性について理解することが重要です。

## 移住・定住に関するご相談・お問い合わせはこちらまで

### 【鹿児島県十島村地域振興課定住対策室】

〒892-0822 鹿児島県鹿児島市泉町14番15号

TEL 099-222-2101 FAX 099-223-6720

ホームページ <http://www.tokara.jp>

e-mail [tokaratiiki@tokara.jp](mailto:tokaratiiki@tokara.jp)

